

集合住宅向け説明会に関する意見書の提出状況

1. 集合住宅説明会の意見結果
 実施期間：平成30年11月24日（土）から平成31年1月31日（木）まで
 意見書提出者数：14名
 総意見数：30件
2. 意見・質問に対する市の考え方

No.	意見の概要	同意見	回 答
総体的な意見（0件）			
有料化賛成意見（0件）【賛成の意思が明確に判断できる意見】			
有料化反対意見（1件）【反対の意思が明確に判断できる意見】			
1	海老名市1市の削減努力でよいのか。市民サービスの低下につながるのでは。導入後ごみ処理予算を削減し、市民に負担がかかるのでは。料金についても、値上げも考えられる。市の行政努力がみえてきていない有料化を簡単に容認することはできない。		ごみの減量化が喫緊の課題である現状において、市民のごみ減量化に対する動機づけが働き、かつ、持続性のある施策の1つとしてごみの有料化を挙げております。ごみの有料化では、今まで全額税金で行っていたごみ処理経費の一部がごみ量に応じた負担となるため、ごみを減らした分、自身が負担する経費は少なくなります。また、ごみの減量化は3市共通の課題ですが、減量化の手法については各市で検討し、実行しています。海老名市はごみ焼却施設の所在市でもあり、率先して減量を図る必要があります。海老名市の取り組み状況については、適宜、2市へ情報提供していきます。
有料化の目的、効果、制度内容に対する意見（9件）			
1	高座清掃施設組合・地権者・地元住民と市との協定を公表すべき。		協定については、高座清掃施設組合と地元住民の協定になるため、公表の有無を含めた判断は高座清掃施設組合が行います。また、いただいたご意見については、高座清掃施設組合に情報提供いたします。
2	議会の付帯決議案件の進展の内容を開示してほしい。		有料化・戸別収集実施後は、検証が求められるため、広報等で報告してまいります。
3	ごみ減少報告をしてほしい。		
4	生ごみ専用袋を早めに販売してほしい。（試してみたいので・・・）		指定収集袋は、2019年9月上旬頃からスーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアなどで販売予定です。
5	生ごみの専用袋と専用バケツ（ふたの付いた物）から選ぶ方法を提案します。		燃やせるごみと燃やせないごみを有料、資源物を無料とすることで、燃やせるごみと燃やせないごみに混入している資源物を分別する動機づけが働き、先行市でもごみの減量効果が実証されている指定収集袋で収集する予定です。説明会と併せて、広報等を活用し周知を図ってまいります。
6	駅周辺の人口増は考えているか？		一般的には人口の増加により、ごみ量は増加しますが、平成26年度までは人口が増加しながらも家庭系ごみは減量が図られていました。しかし、それ以降は増加傾向で、これまでの減量化策だけでは、これ以上の減量は難しいと考えています。市民一人ひとりの「ごみの減量」に対する意識向上が望め、減量効果がある有料化を目指すとしたものです。
7	ごみ袋（専用の黄色）に消費税をなしにしてほしい。		袋の販売価格に対して、さらに消費税がかかることはありません。
8	1家庭年間約6700円の金額相当分を市民税から差し引き、年間の市民税率を下げた変わらなくする。		ごみの有料化では、今まで全額税金で行っていたごみ処理経費の一部がごみ量に応じた負担となるため、ごみを減らした分、自身が負担する経費は少なくなります。また、市県民税については、法律により算出方法が定められている為、そのような取り扱いを行うことはできません。
9	家庭の人数に従って無料配布し、不足分が生じた場合は自費で買ってもらう。		一定量以上排出するごみに手数料を付加する「超過従量制」も検討しましたが、仕組みが簡潔で、運用コストも抑制でき、ごみ減量効果が持続しやすく、全国的にも一般的であるごみの排出量に応じて手数料が増加する「単純従量制」が望ましいと考えています。

有料化の目的、効果、制度内容に対する質問（5件）		
1	現在のごみ収集の仕方がどのように変わるのか具体的なことがわからない。有料の袋に入れた生ごみは集合住宅のごみ置き場に置くのか？いつごろから変わるのか？	生ごみは集合住宅のごみ置き場に置いてください。2019年9月30日から実施します。
2	袋の価格について、減量化によるお得感を持たせた価格が望ましい。	ごみの減量効果、市民の受容性、近隣自治体との手数料水準のバランスを考慮し、本市では2円/ℓの手数料としています。また、ごみの有料化では、ごみを減らした分、自身が負担する経費は少なくなります。
3	割れ物が5L袋を要することはない。3L以下の場合が90%以上を占める。	袋のサイズについては、先行市を参考に5ℓ、10ℓ、20ℓ、40ℓの4種類としたものです。なお、不燃ごみは排出される量が少ないものと考えているため、可燃ごみ（10枚1組）の半分の5枚1組で販売する予定です。
4	清掃車・清掃人は今まで通りなのか？	戸別収集になるため、現在より収集台数・収集作業員の人数は増加します。燃やせるごみについては、現在2地区に分けていますが、3地区に見直し、資源物についても収集曜日の見直しを図ります。
5	もっと早い時期に説明会を実施し、住民に知らせるべきであった。ゴミの分け方等を早急に決め、決定次第再度地区ごとに説明会を開催してほしい。	今後も制度の理解を深めていただくため、適宜、説明会を開催するとともに、実施にあたっては、市民のみなさんのご意見をいただきながら進めてまいります。
戸別収集賛成意見（0件）		
戸別収集反対意見（2件）		
1	戸建て住宅27000軒のみ対応するのは、税の公平性から反対。	戸別収集導入の目的は、個別の分別指導を行うことができ、ごみ分別が促進され、ごみ量を減らすことにあります。なお、説明会を実施している中で、様々なご意見をいただいているため、集合住宅に対する支援策を検討しております。
2	ごみ収集は当番制で仲良くしている。戸別収集で交流の場を少なくしないでください。	現在のごみ集積所については、資源物・燃やせないごみで引き続き使用します。
戸別収集の目的、効果、制度内容に対する意見（2件）		
1	集合住宅こそ階段の問題で戸別収集が必要で、すべての世帯に対しごみ出し支援をすべき。	分別指導の強化というごみ減量化の目的から戸別収集の導入を考えていますが、導入により経費が増加することが考えられますので、そのバランスも踏まえ制度設計を行いたいと考えています。集合住宅については、現在敷地内での収集（戸別収集に該当）を実施していますが、集合住宅の集積所設置に対する一部補助などの支援策についても現在検討中です。
2	マンションの場合は、一部の人が指定袋を使用しないでレジ袋等が出されると、回収されずにいると美観も損ねる。周知徹底を図るため、海老名市で「啓発ポスター」を作成してほしい。	啓発ポスターなどは市で作成し、要望があるところへ配布するとともに、周知啓発に努めます。
戸別収集の目的、効果、制度内容に対する質問（1件）		
1	戸別収集と有料化をセットにして行おうとしているから不公正さがある。別にして考えるべき問題。	戸別収集実施により、排出者が明確になり、より分別指導の強化に繋がり、ごみの減量化が図られると共に、ごみ出し負担の軽減やまちの美観向上にも繋がると考えており、有料化と併用実施することで、ごみ減量の相乗効果がある対策となっています。
減量化に対する意見、質問（0件）		
剪定枝に対する意見、質問（0件）		
今後の進め方、スケジュールに対する質問（0件）		
他の2市などへの意見、質問（5件）		
1	他の2市では、ごみの削減方針について、検討しているか。	ごみの減量化は3市共通の課題ですが、減量化の手法については各市で検討し、実行しています。海老名市は減量化策を考える中で、有効な手法として有料化・戸別収集を目指すこととしました。海老名市はごみ焼却施設の所在市でもあり、率先して減量を図る必要があります。海老名市の取り組み状況については、適宜、2市へ情報提供していきます。
2	3市同時開催を望む。	
3	有料化については3市がまとまって取り扱いを決め、同時に実施すべき事項と考えます。	
4	座間市、綾瀬市と3市でスタートするように市長が議論してほしい。3市でスタートできないのであれば、有料化のスタートも延期するべきでは。	
5	3市同時ではなく、海老名市のみ有料化はおかしい。	

高座清掃施設組合、資源化センター、美化センター等施設に対する意見と質問（0件）		
減免制度等に対する意見、質問（1件）		
1	集合住宅の集会所利用団体（管理組合・自治会・各種サークル）のごみも、無償でゴミ袋を提供すべき。	地域清掃等を行う場合のごみは、減免対象としてします。任意団体の排出するごみについては減免対象には含んでいません。
現行制度等に対する意見、質問（2件）		
1	生ごみ乾燥機は、通販や中古で購入した場合はどのようになるか？	通信販売で購入される場合は補助の対象となりますが、中古は対象外です。補助申請には、事前に申し込みが必要ですので、環境課までお問い合わせください。
2	プラゴミは、汚れがひどい場合は燃えるごみとして出していたが、洗ってリサイクルしたほうがいいでしょうか。	容器包装プラスチックは、ため水ですすいで出せる汚れなら、資源物として出してください。汚れが落ちない場合は、燃やせるごみとして出してください。
事業系ごみに対する意見・質問（2件）		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店にドギーバッグ（お持ち帰り袋）を義務化し、食べ残しによる食品ロスを減らす。 ・食料品店の廃棄には企業への罰則を設け、企業努力によりゴミを減らす ・期限切れ間近の食料品についてはフードバンクに提供し、生活困窮者への支援に回す 	事業系ごみの減量化策についても、環境審議会で検討しております。事業系ごみは業種や業態によってさまざまであるため、一つの方法では進められないと考えています。燃やせるごみの焼却手数料の値上げ等も踏まえて、事業系ごみの減量化策を強化していかなければ、市全体としては減らないため、今後、環境審議会から答申をいただき、基本方針を作成し、施策を進めてまいります。
2	排出量について、家庭ごみの状況は説明資料に記載されているが、事業系の状況は？	平成29年度の事業系ごみ排出量は、8,623tであり、増加傾向で推移しています。また、今回は、家庭系ごみの減量化策の説明をさせていただきましたが、事業系ごみの減量化策についても、環境審議会で検討しております。事業系ごみは業種や業態によってさまざまであるため、一つの方法では進められないと考えています。燃やせるごみの焼却手数料の値上げ等も踏まえて、事業系ごみの減量化策を強化していかなければ、市全体としては減らないため、今後、環境審議会から答申をいただき、基本方針を作成し、施策を進めてまいります。
その他の意見・質問（0件）		